



# チーム玉幡



第17号  
R6 3月25日  
文責 花形 一満

## 令和5年度 卒業証書授与式

少し寒くはありましたが、卒業生を祝福するかのよう青空が広がった3月19日（火）。甲斐市副市長 瀬戸隆之様をはじめ、教育委員会、市議会議員、学校評議員、自治会長、主任児童委員、民生児童委員、PTA本会役員の来賓の方々や、卒業生の保護者、そして在校生代表の5年生の参加のもと「令和5年度卒業証書授与式」（卒業式）を行いました。

卒業式は、6年生に小学校の教育課程をすべて修了した証である卒業証書を手渡す大切な学校行事であるとともに、6年間の成長の成果を発揮する最後の授業でもあります。この日のために、6年生はたくさんの時間をかけて取り組んできました。どんなことを伝え、どんな曲を歌いたいかを考えたり、実際の式の中での動きを練習したり、合唱や呼びかけの練習をしたり、そして、卒業制作に取り組んだり、そんな中で卒業に向けての気持ちをつくってきました。また、在校生代表として参加する5年生もどんな姿勢で卒業式に臨むのかを考え、感謝と祝福の気持ちを伝える呼びかけや合唱の練習を繰り返し行い、前日には5年生が会場の清掃や会場づくりに活躍してくれました。

そして、迎えた本番当日。堂々とした入場、ひな壇に座る凛々しい姿、担任の呼名に対して「はい」の返事、卒業証書を受け取ったときの「ありがとうございます」という言葉と輝いた目、とても立派な姿でした。そして、後半の部分で、6年間のたくさんの思い出と感謝の気持ち、そしてこれからの生活への決意を、ことばと合唱にして表現してくれました。卒業生が玉幡小で大きく成長できたことを証明する発表でした。5年生も、「6年生にとって心に残る卒業式にしてあげたい」という気持ちがこもった呼びかけや合唱をしてくれました。玉小の子どもたちの素晴らしさを改めて感じました。1時間20分の内容でしたが、厳粛な中にもたくさんの感動とたくさんの温かさを感じることができた卒業式でした。

卒業生は4月から中学校という新たなステージでの生活が始まります。卒業式の式辞の中で、私からは「あきらめず努力をつづけてほしい」「感謝の心を忘れないでほしい」という2つのことを卒業生に伝えました。玉幡小学校の卒業生であることを誇りにして、さらに大きく羽ばたいてくれることを期待しています。



# 令和5年度 修了！ 1年間ありがとうございました！

令和5年度の1年間で学校に登校した日（授業日）は、1年生は202日、2年生～5年生は201日、6年生は200日ありました。（授業日数の違いはインフルエンザ流行の学級・学年閉鎖などのため）

さて、本日、令和5年度の修了式を行いました。修了式では、私から学年代表の子どもたちに「修了証書」（本校では「学校生活のようす」の最後のページにあります）を渡し、その後、代表の子どもが「1年間を振り返って」の発表をしてくれました。「修了証書」には「小学校第○学年の課程を修了したことを証します」と書かれています。つまり、「小学校○年生で学ぶべきことをすべて学び、進級できます」ということです。玉幡小学校の子どもたち全員、進級です。おめでとうございます。

子どもたちが進級するにあたり、保護者の皆さまにお願いがあります。それは「学校生活のようす」に書かれていることをじっくり読んでいただきたいということです。私も全校の子どもたちの「学校生活のようす」をすべて読ませてもらいました。学級担任が、一人一人の学習や生活のようすをきちんと見とり、「◎○△」で評価しています。「◎」が付いているところは、がんばっているところや良さであり、大いに褒めてあげてください。「△」がついているところは、努力をして欲しい部分や身につけていない部分なので、新学年で改善できるように保護者としてのアドバイスや励ましをお願いします。「学校から」の部分には、学級担任の子どもたち一人一人への期待と願いが書かれています。是非、書かれている内容について、子どもと一緒に話をしてみてください。また、「健康の記録」については、身体測定や健康診断の記録などを養護教諭がまとめてくれています。健康状態に注意していただき、心配な場合は、医療機関等への相談・受診をお願いします。学校と保護者が一緒の方向を向いて、子どもたちを指導・支援することが健やかな成長のカギになります。よろしくお願いします。

今年度を終わるにあたり、この1年間、玉幡小学校の子どもたちは、多くの学習や様々な行事・体験を通して、大きく成長してくれました。子どもたちが頑張り、成果をあげることができましたのも、ひとえに保護者の皆さま・地域の皆さまのご理解ご協力があったからです。改めて、感謝申し上げます。

